

## 6 家庭・地域・関係機関等との連携体制の充実

子どもたちの学びや心身の成長を支えていくためには、学校と家庭・地域・関係機関等が相互に連携する体制の充実を図ることが大切です。

そのためには、学校運営協議会の効果的な活用を推進するとともに、各校の特色を生かした「絆づくり教育プラン」や各教科等の学習において、関係機関や外部人材を積極的に活用するなどし、子どもたちが地域や社会との関わりの中で様々な人から学ぶ機会を充実させることが重要です。

### ■家庭や地域とのつながりを深める体制づくり

□学校運営協議会において、保護者や地域の方々と、目指す子どもの姿や取組の方向性、課題などについての協議を行い、学校と家庭・地域が連携して子どもを支えていく体制づくりに努める。

< 取組例 >

- ・子どもたちの安全について協議し、安全パトロール隊の方を中心に、休み時間の校地内での見守りや空き教室でのふれあい活動を実施した。
- ・中学生の地域に貢献する気持ちを高めるため、複数のゲストティーチャーと中学生で座談会を行い、地域のためにできることはないか意見交流を行った。

□自校の「絆づくり教育プラン」において、地域素材や人材の積極的な活用を図り、子どもたちが人と人との絆のすばらしさを実感できるような取組を工夫する。

□学校評価等を活用し、保護者や地域、教職員の願いを踏まえた教育活動の工夫・改善が図られるようにする。

□学校の取組や目指す方向性について、ホームページや学校報等で積極的に情報を発信するなど、地域や社会に開かれた学校づくりに努める。

### ■関係機関や外部人材の積極的な活用

□各教科等において、地域と連携した体験活動や講話会を実施するなど、多様な人との関わりを通して、自分の生き方や社会との結び付きについて考える機会の充実を図る。

□地域と連携した防災訓練やボランティア活動、地域の祭りや伝統芸能などの地域行事への参加を通して、地域のために自分たちができることを考え、実践する場を設ける。

□社会教育施設（→p 6 2 社会教育施設等参照）や地域の史跡、「小・中学校出前講座」を活用するなど、体験活動の充実を図る。



【和楽器奏者による講話会】



【農園での体験活動】



【公園の清掃奉仕作業】